

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
公益社団法人 福岡県人権研究所
“りべらしおん” No. 12 (2022/9/07)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

I メール配信登録について

研究所ニュースの配信及び研究所の案内が迅速に届くようにメール配信の登録を進めています。各部会や講座などでもメールでの申込や登録を呼びかけています。会員のみならず相互に「メールアドレス登録」の声かけもお願いします。

* ホームページ掲載の「羅針盤 PART II 第8回【閑話休題】新しい識字問題の複雑さ」では、メール配信の重要性について書いています。

II 報告

2022年度第3回ジェンダー部会「森崎和江『からゆきさん』を読む」が、9月4日(日)11時～16時半、本研究所において本研究所副理事長園田久子さんを講師に開催されました。今回のテーマは、<「密航婦たち」「ふるさとの血潮」>で、参加者は15名(会場10名、ZOOM 5名)でした。次回は、11月27日(日)14時から、5階ボランティアセンター会議室で開催予定です。

【参加者の感想から】

- ・自分だけで本を読むのとは違って、いろんな情報や意見を聴かせていただき、たくさん問題を考えないといけないと改めて思いました。ジェンダーギャップの上位の国の女性はどんなに生きやすいだろうと思います。
- ・今日は学習になりました。若いころ読んだのですが、こういう機会が無いと森崎和江さんの本を読まないで、大変貴重な機会を与えてもらっています。
- ・売春(買春)や遊郭がずっと日本の国策として国営として行われてきたので、日本の法律(刑法など)が「性加害者」を守るものになっている、ということが分かりました。「からゆきさん」の時代の法律、100年前の法律が今も続いているから性加害者への無罪判決が出るおかしさ、性暴力に苦しめられる人がなくなるおかしさを、変えていきたいです。
- ・女性差別の根深さを感じます。売春が国策であった時代が下敷きにあるので、日本の意識は(自分も含めて)とても低いと思います。
- ・当時の新聞記事のコピーまでいただいてありがとうございます。先生の解説で読んだところがさらに肉付けされていく感触です。白びょうしのお話、異性装の文化歴史として捉えても面白いなと思いました。いつかセックスワークの社会的位置づけも変わっていくことがあるんだろうかと思ったりしました。
- ・神戸には戦前から奄美諸島からたくさんの移民が渡ってきています。喜界島同人誌「榕樹」に『戦後、8年間、米軍占領下に置かれていた奄美諸島では本土との往来は禁止され、食料品も米軍により、3倍に値上げされます。本土と奄美諸島との物流が途絶えた結果、生活は困窮。その結果、職を求めて奄美諸島から沖縄へ渡り、基地労働やサービス業に従事したり、また、本土へ「密航」という形で奄美諸島からかなりの数の人々が神戸などに移住しました。』と投稿したことがあります。サービス業の大半が沖縄コザのAサインバーのホステスや性産業に従事した人々でした。経済的な貧困による女性の出稼ぎせざるをえなかった状況は同じと思いました。

Ⅲ お知らせコーナー

1 『全国水平社・全九州水平社設立百周年講座～部落解放運動 100 年のはじまり』

日時：2022 年 9 月 11 日(日) 14:00～16:00(13:30 開場)

会場：嘉麻市碓井住民センター大ホール（嘉麻市上碓井 446-1）

2 2022 年度「啓発担当者のための人権講座」（要申込）

日時：2022 年 10 月 3 日(月)12:30(受付)13:00～16:30

会場：福岡市中央市民センターホール(会場開催と同時にライブ配信も行います)

内容：①講演 「ネット人権侵害と部落差別の現実」

講師 川口泰司さん(一般社団法人山口県人権啓発センター事務局長)

②報告 福岡県人権・同和対策局

(仮)福岡県におけるインターネット・モニタリングの実施状況について」

< * 各部会・講座の開催等の詳細については、ホームページをご覧ください。 >

ホームページ <https://www.f-jinken.com/>

email info@f-jinken.com (登録解除はこちらへ)

〔人権研究所の本〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！ー学校文化史のおきみやげー』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とはー』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

ニュース担当：峰